

獨協医科大学病院だより

— Dokkyo Medical University Hospital News —



12月から新規導入となったリニアック
(放射線治療装置)



平成31年(2019年)

1月



第42号

放射線治療センター新棟（名称：放射線治療センター棟）紹介

放射線治療センターに新棟（名称：放射線治療センター棟）が増築され、12月より運用を開始いたしました。場所は、RI棟1階から続く、旧MR検査室跡地になり、放射線治療センターのフロアから繋がっています。

当センターでは、2005年ガンマナイフ設置、2015年にはELEKTA社製リニアック装置の最高グレード機であるVersaHDが導入され、肺への定位放射線治療、及び前立腺に対するVMAT（回転照射によるIMRT：強度変調放射線治療）等の高精度放射線治療を実施してまいりました。

また、2016年に小線源治療装置マイクロセレクトロンも設置され、腔内照射、組織内照射も実施されるようになり、治療範囲の拡充がなされてきました。しかしながら、リニアックにて、1日50人超の照射のため、治療開始までの待ち時間が長くなり、照射の混雑緩和、治療開始待ちの解消、更なる治療範囲の拡大（頭頸部に対するIMRT、呼吸同期による定位放射線治療）のニーズの高まりにより、2台目のリニアックが導入されることになり新棟増築となりました。

放射線治療センター棟には、ELEKTA社製リニアックVersaHDとCANON社製MRI装置 Vantage Orian（1.5T）が設置されています。同型機のリニアック増設により治療効率が向上するだけでなく、治療センター内に専用のMRIがあることによって、放射線治療には欠かせない画像情報を、センター内で得ることができるようになり、より高精度な放射線治療の実施が期待できます。

安全で安心な放射線治療を目指し、努力してまいりますので、今後の放射線治療センターにどうぞご期待ください。

2017年度実績

リニアック（VersaHD）

外照射	484 人
（定位放射線治療（肺）	8 人）
（強度変調放射線治療VMAT（前立腺）	32 人）

小線源治療（マイクロセレクトロン）

腔内照射、組織内照射	13 人
------------	------



ELEKTA Versa HD



CANON Vantage Orian 1.5T

後発医薬品（ジェネリック医薬品） 使用促進に向けてのお願い

厚生労働省より、『患者負担の軽減ならびに医療費の削減の観点など』から後発医薬品の使用促進が求められています。

医療機関において、後発医薬品のシェアを早期に80%以上まで達成するよう指導があり、当院でも後発医薬品の導入を促進しています。

患者さんにおかれましては、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

※「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」は、先発医薬品（新薬）の特許が切れた後に製造・販売される、「先発医薬品と同じ有効成分を同量含んでおり、（先発医薬品と）同等の効き目がある」と認められた医薬品です。先発医薬品に比べて薬の値段が5割程度、中にはそれ以上安くなるものもあるため、一人ひとりの自己負担や国民医療費の抑制にもつながります。



安心・信頼 Anshin Shinrai

国の厳しい審査をクリア

ジェネリック医薬品は、国の厳しい審査をクリアしたものが承認されています。有効性や安全性、品質も新薬と同等です。

低価格で個人負担が軽くなる

新薬と同じ有効成分を使用し、開発費用が抑えられるので、低価格です。医療の質を落とすことなく、経済的負担が軽くなります。



未来 Mirai

医療費を有効活用

個人負担の軽減だけでなく日本全体の医療費の効率化が可能です。その医療費は新技術や新薬の導入に活用できます。

医療保険制度を次の世代に引き継ぐ

少子高齢化が急速に進む中、現在の優れた医療保険制度を維持し、子どもたちや次の世代に引き継いでいくことに貢献します。



インフルエンザとかぜについて



12月～3月はインフルエンザの流行時期です。

	インフルエンザ	風邪
症状	高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・咳・喉の痛み・鼻水など	喉の痛み・鼻水・鼻づまり・くしゃみ・咳・発熱など
発症	急激	比較的ゆっくり
症状の部位	倦怠感など全身症状	鼻や喉など局所的

インフルエンザ予防法

- ☑人混みや繁華街への外出を避ける
- ☑外出時にはマスクを使用する
- ☑咳エチケット
- ☑加湿器を使って適度な湿度を保つ
- ☑手洗いうがいの励行
- ☑十分な休養、バランスの良い食事

《かぜ予防に効果的な栄養素》

★**ビタミンC**（レンコン、さつま芋など）

抗酸化作用が強く、免疫を強化する作用がある。

★**亜鉛**（レバー、煮干しなど）

疲労回復、新陳代謝を活発にする、免疫機能を高める。

★**ビタミンA**（人参、ほうれん草など）

皮膚や粘膜を正常に保つ働きがある。

★**たんぱく質**（肉、魚、卵、大豆など）

基礎体力をつけ抵抗力を高める。

防犯の為正面玄関の開閉を

以下の時間帯に**変更**いたしました。

何卒、ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

【月～土】

※第3土は除く

7:00～20:00

※従来 7:00～21:00

【日・祝・第3土】

12:00～20:00

※従来 7:00～21:00

看護師募集

○当院では看護師を募集しております。

詳細につきましては、下記窓口までお気軽にお問い合わせください。

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880

獨協医科大学病院 看護部

受付時間

平 日 9:00～16:00

土曜日 9:00～14:00（第3土除く）

TEL : 0282-87-2395

FAX : 0282-87-2382



獨協医科大学病院だより第42号

〒321-0293

栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880番地

TEL 0282-86-1111（代表） FAX 0282-86-4775

当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。

[獨協医大病院 検索](http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/)

<http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

発行年月日／平成31年 1 月10日

編集・発行／獨協医科大学病院広報誌委員会

印刷／(株)松井ピ・テ・オ・印刷